



平成 25 年 7 月 3 日午前 11 時から実釣。7 月の日中にもかかわらず水は冷たく感じられた

## 増水後のニゴリが 1 日で解消する紀ノ川最大の支流

# 貴志川

京阪神から近いところに「こんなに綺麗な川があったのか！」とアユ釣りファンでなくても驚きそうな河川が紀ノ川支流の貴志川だ。温泉やキャンプ場などのレジャー施設も多く家族連れ釣行も楽しそう！

解説◎森岡達也



### 支流・真国川では 2014 シーズンからルアーフィッシングが解禁！

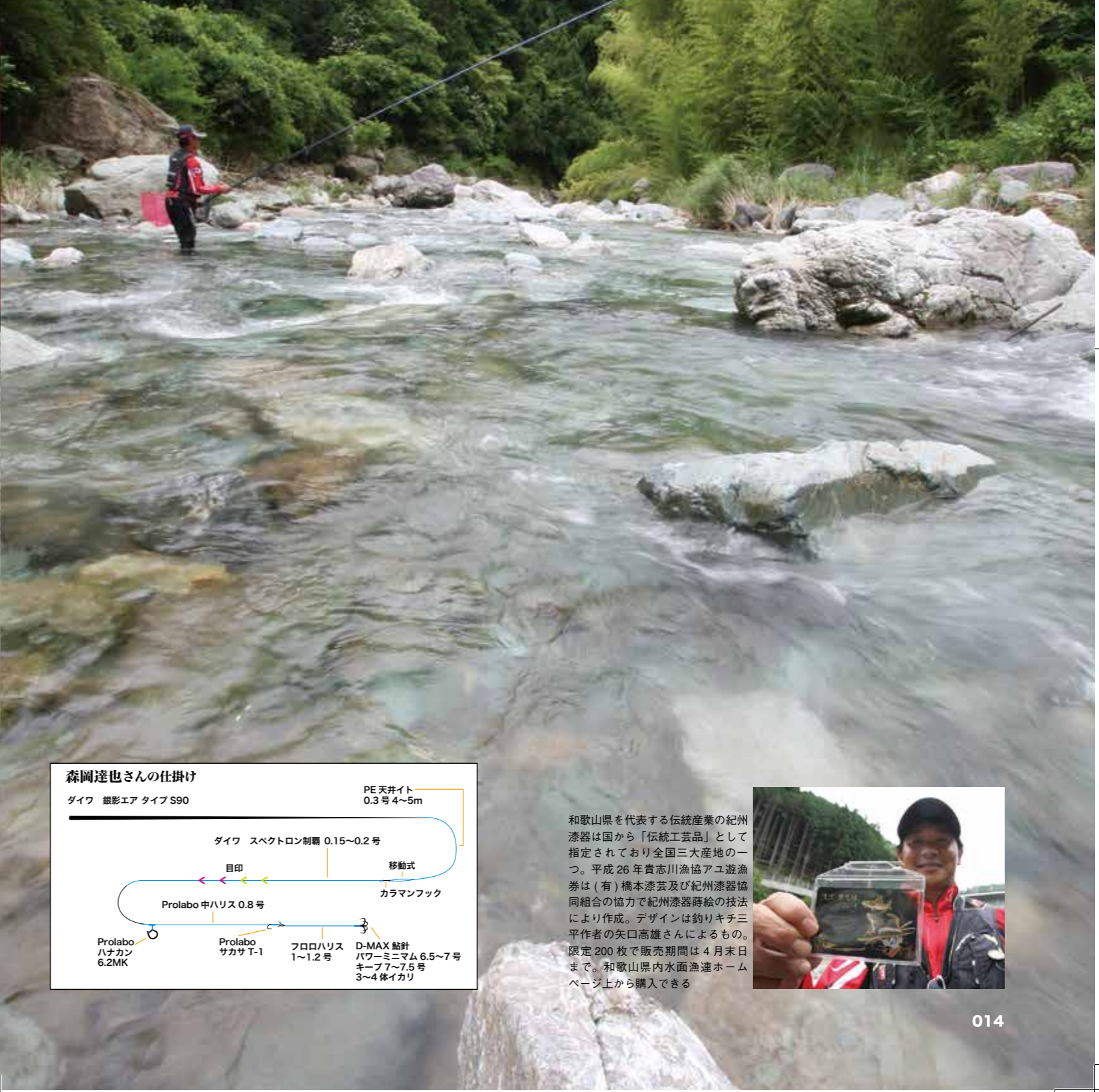
2014 年度から支流の真国川でルアーによるアユ釣りが解禁される。本流との出合に架かる落合橋から上流部の円明寺橋までがその区間。長いアユザオでは釣りにくい狭い場所でもショートロッドを操るルアーフィッシングなら問題なく釣れるし、サオ抜けポイントの攻略も簡単ならず。この区間の解禁は 6 月の第 2 日曜から 11 月 30 日までだが例年 8 月下旬に 1 日だけ網漁が解禁されるので以降は魚が少なくなる。



だるま湯前の瀬で。綺麗な魚体の野アユが小気味よいアタリで小バリエに掛かってきてくれた



写真は 2014 年度のルアー解禁に先駆けて 12 年 8 月 22 日に漁協主導で行なわれた真国川での試釣の様子。アングラーはテレビでもおなじみの久保浩一さん。使用ルアーはアユゲーム用に開発されたカツイチ「リアユ」のほかエバグリーン「スレッジ」というバス用ディープランク。これらにアユ用 3 本イカリをセットしベイトタックルで瀬の石の頭、横の流れでルアーを止め、オトリが泳ぐ様子を演出し追いをつ。結果は 20cm オーバーを含めて 5 尾の釣果。特にタマツメにアタリが活発だった。アユのルアーゲームに関してはカツイチ・リアユのサイトが詳しい。  
[http://www.katsuiichi.co.jp/reayu/reayu\\_1.html](http://www.katsuiichi.co.jp/reayu/reayu_1.html)



### 泳がせメインでのんびり釣ろう

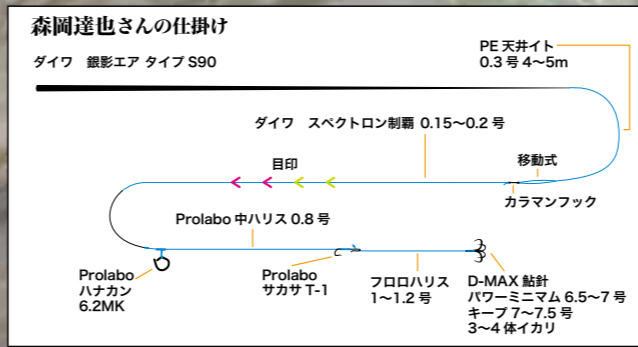
和歌山県の北部を流れる紀ノ川最大の支流である貴志川は、高野山西麓を源とし、野上谷を西流したのち海南市の沖野々で北東へ大きく転じる。合流点付近で北西流となり、紀ノ川市と岩出市の境界から紀ノ川に注ぐ。

アユ釣り河川としての知名度は低いですが、上流にダムがなく水質はよく綺麗なアユが育つ河川で、メインとなる釣り場は中流域にある「だるま温泉」周辺から下流域だが、放流アユに加え紀ノ川から遡上する天然ものも多く例年安定した釣果が期待できる。釣り人が少ないだけに自分好みのポイントを選択することができる点も魅力の 1 つだ。

もともと水量が少ない河川だけに初期から水温の変動が小さいので釣期は長く、例年 11 月ごろまで充分釣りができる。

この河川の特徴は、他の和歌山の河川にくらべ増水後のニゴリが取れるのが非常に早いこと。雨さえやんで 1 日たてば、他の河川がアウトでも、もう釣りができる状態になる場合が多いというありがたい川なのだ。

初期は放流アユねらいで盛期から後半は天然遡上がターゲット。水量が少ない河川のわりにはアユの成長がよく、良型アユが強烈なアタリでサオを曲げてくれる。全体的にフラットな川相で釣りやすくチャラ瀬や早瀬、ト口場での泳がせ釣りやメインとなるが、サラサラした石が多いので根掛り対策はしっかりしておきたい。小バリエ(5.5~6号)の 3 本イカリやチャラシ、ヤナギ等がよいだろう。



和歌山県を代表する伝統産業の紀州漆器は国から「伝統工芸品」として指定されており全国三大産地の一つ。平成 26 年貴志川漁協アユ遊漁券は (有) 橋本漆芸及び紀州漆器協同組合の協力で紀州漆器蒔絵の技法により作成。デザインは釣りキチ三平作者の矢口高雄さんによるもの。限定 200 枚で販売期間は 4 月末日まで。和歌山県内水面漁連ホームページ上から購入できる



# 1 たまゆらの里 立岩

紀美野町のリゾートコテージ「たまゆらの里」から立岩までが貴志川でアユ釣りができる最上流エリアで、全体的には玉石底のチャラ瀬に早瀬と小砂利底のトロ場が点在する。初期は流れの中をメインに、盛期からは小砂利底のトロ場やチャラ瀬で数を稼げる。短い小場所が連続するので1日じっくりというよりは、川を歩きながら広範囲に釣るほうが釣果は高くなる。水量が少なく透明度も高いのでアユの警戒心も強く、できるだけポイントから離れたサオだしを心がけたい。川幅も狭いので7.5mのサオで充分対応できる。たまゆらの里から立岩までには数カ所ポイントがあり、国道から川が見えるので石の色やアユの姿を確認して入川すれば、よい釣りができると思う。

この地区は放流アユが中心で初期から流れの中や、ちよつとした石の変化のあるポイントで、活発に追いを見せてくれるのが特徴。よい香りが漂う綺麗な魚体が多い。

## ●立岩



「たちいわ」「たていわ」とも読む。テレビ番組の「ナニコレ珍百景」でも紹介された奇岩で川の真ん中にどかんと居座る巨大な謎の岩。岩に架かる橋は子どもたちの通学路にもなっているとか



立岩周辺には早瀬があり河原もあるので釣りやすいポイント。流れの中に良型アユが入っているのが面白いです。ここでもできるだけ川から離れてサオや自分の影が水面に映らないように心がけてほしい



- 凡例**
- 🚗 オトリ店
  - 🅑 駐車スペース
  - ★ 入川口、入川道
  - 📷 撮影場所・方向
  - WC 公衆トイレ
  - 🅒 ガソリンスタンド
  - 🅓 コンビニ

**Guide**

- 管轄漁協 貴志川漁業協同組合 (☎ 073-495-2114)
- 解禁日 本流と真国川の落合合流点から下流が例年6月の第1日曜、真国川を含む上流が6月の第2日曜
- 入漁料 年券1万円+消費税、日券2000円+消費税。18歳以下は無料
- 釣況問い合わせ 貴志川漁業協同組合
- 交通 阪和道の海南東ICから国道370号を東進、野上新橋を渡り右岸側を進むルートと、野上新橋手前の沖野々交差点を右折しすぐの木津交差点を左折し、県道169号で左岸側を上流に向かうルートがある。または紀ノ川の大門口大橋から国道480号で高野山方面に向かい、高野町花坂から国道370号で上流部にアクセスしてもよい

**貴志川のおトリ店**

- 喫茶軽食だいもん ☎ 073-499-0808
- 西岡 ☎ 073-499-0200
- 西たばこ店 ☎ 073-498-0230
- 衣田 ☎ 073-495-3236
- 魚太 ☎ 073-497-0166
- 芝たばこ店 ☎ 073-497-0281
- 後呂おトリ店 ☎ 073-489-4857



柳生橋の下、川が蛇行している部分。比較的開けたポイントでチャラ瀬と岩盤が混合する。チャラ瀬はもちろん岩盤もねらいめで良型がよく掛かる。このポイントではイカリよりチラシやヤナギ等の軽めのハリを使用し根掛りをできるだけ少なくする工夫をしたい



写真①のポイントへの入川口には駐車スペースと公衆トイレがあり非常に便利



たまゆらの里は紀美野町長谷宮の貴志川左岸沿いにあるリゾートコテージで低温岩盤浴・露天風呂付き部屋などが人気。カフェ&レストラン、バーベキュー、プール、花火ゾーン、共同の岩風呂、パレーコート、バターゴルフなどの施設も充実しており、もちろん川遊びも可能。宿泊だけでなく日帰りプランもある



13 水量が多く好ポイントが連続する人気の場所。大石周りや早瀬で良型がよく反応する



9 滝ノ宮橋の上下は早瀬が連続するポイントで、大石周りや流れの変化をねらうとよい



11 大石ゴロゴロでタナになった部分が面白い



15 だるま湯から上流は車ほどの大石が点在し、段々瀬や淵といったポイントが連続する。盛期以降にびっくりするような良型アユが釣れる



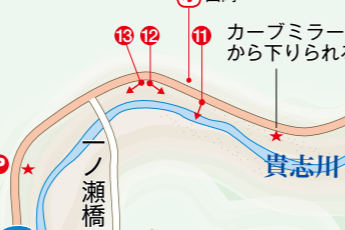
12 古市橋の手前にある家族経営のアットホームなオートキャンプ場



10 大門橋をわたってすぐ上手に右側にある喫茶軽食だいまん(オトリ)



11 西岡(オトリ)



16 昭和63年の橋の架け替え工事で偶然発見した天然温泉。泉質がよくアトピー性皮膚炎に卓効の療養泉。すぐ上流にある奇岩「達磨石」が名前の由来。宿泊はもちろん日帰り入浴、食事の利用も可



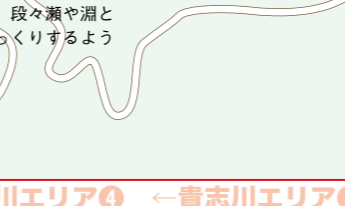
17 西岡



18 早瀬と段々瀬が連続する好ポイントで、ここではオモリや背バリを使用し強い流れの石頭で止めるような操作に反応がよい



19 土井酒店横の通路から川に下りられる。必ず店の人に一声かけてから通ること



20 だるま湯

21 藤の森不動温泉だるま湯

22 だるま湯

23 だるま湯

24 だるま湯

25 だるま湯

26 だるま湯

27 だるま湯

28 だるま湯

29 だるま湯

30 だるま湯

31 だるま湯

32 だるま湯

33 だるま湯

34 だるま湯

35 だるま湯

36 だるま湯

37 だるま湯

38 だるま湯

39 だるま湯

40 だるま湯

41 だるま湯

42 だるま湯

43 だるま湯

44 だるま湯

45 だるま湯

46 だるま湯

47 だるま湯

48 だるま湯

49 だるま湯

50 だるま湯

51 だるま湯

52 だるま湯

53 だるま湯

54 だるま湯

55 だるま湯

56 だるま湯

57 だるま湯

58 だるま湯

59 だるま湯

60 だるま湯

61 だるま湯

62 だるま湯

63 だるま湯

64 だるま湯

65 だるま湯

66 だるま湯

67 だるま湯

68 だるま湯

69 だるま湯

70 だるま湯

71 だるま湯

72 だるま湯

73 だるま湯

74 だるま湯

75 だるま湯

76 だるま湯

77 だるま湯

78 だるま湯

79 だるま湯

80 だるま湯

81 だるま湯

82 だるま湯

83 だるま湯

84 だるま湯

85 だるま湯

86 だるま湯

87 だるま湯

88 だるま湯

89 だるま湯

90 だるま湯

91 だるま湯

92 だるま湯

93 だるま湯

94 だるま湯

95 だるま湯

96 だるま湯

97 だるま湯

98 だるま湯

99 だるま湯

100 だるま湯

101 だるま湯

102 だるま湯

103 だるま湯

104 だるま湯

105 だるま湯

106 だるま湯

107 だるま湯

108 だるま湯

109 だるま湯

110 だるま湯

111 だるま湯

112 だるま湯

113 だるま湯

114 だるま湯

115 だるま湯

116 だるま湯

117 だるま湯

118 だるま湯

119 だるま湯

120 だるま湯

121 だるま湯

122 だるま湯

123 だるま湯

124 だるま湯

125 だるま湯

126 だるま湯

127 だるま湯

128 だるま湯

129 だるま湯

130 だるま湯

131 だるま湯

132 だるま湯

133 だるま湯

134 だるま湯

135 だるま湯

136 だるま湯

137 だるま湯

138 だるま湯

139 だるま湯

140 だるま湯

141 だるま湯

142 だるま湯

143 だるま湯

144 だるま湯

145 だるま湯

146 だるま湯

147 だるま湯

148 だるま湯

149 だるま湯

150 だるま湯

151 だるま湯

152 だるま湯

153 だるま湯

154 だるま湯

155 だるま湯

156 だるま湯

157 だるま湯

158 だるま湯

159 だるま湯

160 だるま湯

161 だるま湯

162 だるま湯

163 だるま湯

164 だるま湯

165 だるま湯

166 だるま湯

167 だるま湯

168 だるま湯

169 だるま湯

170 だるま湯

171 だるま湯

172 だるま湯

173 だるま湯

174 だるま湯

175 だるま湯

176 だるま湯

177 だるま湯

178 だるま湯

179 だるま湯

180 だるま湯

181 だるま湯

182 だるま湯

183 だるま湯

184 だるま湯

185 だるま湯

186 だるま湯

187 だるま湯

188 だるま湯

189 だるま湯

190 だるま湯

191 だるま湯

192 だるま湯

193 だるま湯

194 だるま湯

195 だるま湯

196 だるま湯

197 だるま湯

198 だるま湯

199 だるま湯

200 だるま湯

201 だるま湯

202 だるま湯

203 だるま湯

204 だるま湯

205 だるま湯

206 だるま湯

207 だるま湯

208 だるま湯

209 だるま湯

210 だるま湯

211 だるま湯

212 だるま湯

213 だるま湯

214 だるま湯

215 だるま湯

216 だるま湯

217 だるま湯

218 だるま湯

219 だるま湯

220 だるま湯

221 だるま湯

222 だるま湯

223 だるま湯

224 だるま湯

225 だるま湯

226 だるま湯

227 だるま湯

228 だるま湯

229 だるま湯

230 だるま湯

231 だるま湯

232 だるま湯

233 だるま湯

234 だるま湯

235 だるま湯

236 だるま湯

237 だるま湯

238 だるま湯

239 だるま湯

240 だるま湯

241 だるま湯

242 だるま湯

243 だるま湯

244 だるま湯

245 だるま湯

246 だるま湯

247 だるま湯

248 だるま湯

249 だるま湯

250 だるま湯

251 だるま湯

252 だるま湯

253 だるま湯

254 だるま湯

255 だるま湯

256 だるま湯

3 なかむら  
**中村橋**  
 まえかわ  
**前川橋**

中村橋から前川橋にかけては貴志川中流域に位置するエリアで水量が安定あり、本場にすばらしいポイントと思える場所がたくさんある。国道から川の状態が確認できるので入川しやすいのもありがたい。放流も天然遡上も多く魚が豊富なのが特徴で、ゆったりと楽しむことができる。

初期は玉石底の瀬がねらいめとなり、濁水時や盛期以降はト口場やチャラ瀬がねらいめとなる。静かに泳がせると水深15cmほどのチャラ瀬でも良型アユが連発する。できるだけ静かに物音を立てずにねらいたい。天然遡上のアユが多いので、浅瀬のヘチで数を稼げる。ただし駐車スペースは極端に狭い場所が多いため、駐車の際は他車の通行に充分配慮してほしい。

# 中村橋 前川橋

3



松ヶ峰橋の上流に堰堤(頭首工)があり、よい瀬が連続する。人気ポイントで天然遡上のアユも多く放流アユもこの堰堤で止まるので例年よく釣れるポイント。玉石底の瀬が連続する。下流には大きな岩が入った淵があり魚が多い



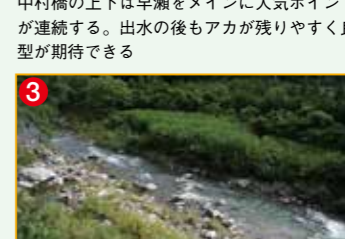
●みさと天文台  
 海拔430mの松ヶ峰の山頂に位置する紀美野町立の天文台で公開施設では世界屈指の口径105cmカセグレン式反射望遠鏡がある。プラネタリウム、フルハイビジョン3Dシステムなど見所がいっぱい



●橋本屋  
 田村橋の手前にある食料品店。近隣にコンビニなどないので食料の調達に便利



●西たばこ店(オトリ)  
 田村橋と中村橋のあいだにあるオトリ販売店。目の前が好ポイント。(☎073-498-0230)



前川橋のすぐ下は瀬と瀬尻が好ポイントで数も型も期待できる。下流部は小石底のト口場となるため、濁水時やアカ腐れになると泳がせ釣りに期待がもてる

瀬と淵が交互にあり水量も多く、じっくりねらえるポイント。ところどころに岩盤が入っているので、そこをねらう

玉石底に岩盤があり、岩盤の溝をねらうと良型がよく掛かる

玉石底、岩盤の瀬が連続する好ポイントで人気があるエリア

岩盤底と玉石が入っていてフラットな流れが多いポイント。どちらかといえば岩盤底がねらいめ

美里の湯かじか荘  
 將軍橋を渡ったところにある温泉宿泊施設。11時から20時(最終受付19時30分)まで日帰り入浴もできる

中村橋の上下は早瀬をメインに人気ポイントが連続する。出水の後もアカが残りにやすく良型が期待できる

西たばこ店前は平瀬と玉石底の平場があり、魚が多い。静かに泳がせると数を稼げる

タナが3つほどあり底石がしっかり入っていて、数も型も期待できる好ポイント



八幡橋は広大な市営無料駐車場があり便利。瀬肩から瀬を中心に良型アユがよく掛かる



鳴瀬大橋の上流は瀬からの流れ出しと瀬が面白いポイント



黒沢橋の下流は玉石底の瀬がねらいめ

# 八幡橋

紀美野町の三尾川橋から海南市の八幡橋にかけてが貴志川のアユ釣り場としての最下流域で、国道から川が離れている場合が多く入川しにくいポイントが多い。しかし天然遡上アユが豊富で盛期から終盤に数釣りできるポイントが連続する。ここまで下流に来ると極端に玉石底のフラットな川相になり、早瀬とトロ口場がメイン。長サオでオトリを広い範囲に泳がせるようなイメージの釣りが有効となる。天然遡上が多い年は初期から数釣りできるし、盛期から後半には3ヶタ釣りも可能。ポイントは非常に多くあるのだが、駐車スペースが少なく入川道も分かりにくいので注意が必要。



貴志川では最下流に位置するオトリ店。(☎ 073-489-4857)



国道から広瀬橋を下る道沿いにあるオトリ店。(☎ 073-495-3236)



真国川の滝本橋の手前があるオトリ店。(☎ 073-497-0166)



本流の平成大橋から上ノ城トンネルを抜けて真国川に出て上流に向かったところにある。(☎ 073-497-0281)



⑧⑨⑩は支流・真国川のポイント。川幅は狭く水量も少ないが水質は抜群で岩盤底と玉石底の瀬が連続する好ポイント。2014年度からルアーでのアユ釣りが本流出合の落合橋～円明寺橋の間で解禁になる



新しくできた美里バイパスの大原大橋の上流。玉石底の平場で面を意識して広範囲にオトリを泳がせる



三尾川橋の下流は竹藪が川を覆い釣りにくい玉石底で数釣りできるポイント



神原大橋の下流。やはり玉石底のフラットな川相のため泳がせ釣りがメインの釣り場



広瀬橋周辺も玉石底の平場で泳がせて面の釣りを心がける

貴志川エリア④ ← 貴志川エリア③ ← 貴志川エリア② ← 貴志川エリア①

